

# 令和元年度 地域密着型金融の推進に係る取組み状況

(平成31年4月～令和2年3月)

## しののめ信用金庫

### 目次

- I. 令和元年度地域密着型金融の取組み状況
- II. 創業・新事業支援に係る制度融資の件数と残高

## I. 令和元年度地域密着型金融の取組み状況【平成31年4月～令和2年3月】

### 1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

項目	取組み施策	平成31年4月1日～令和2年3月の進捗
(1) 事業性評価を踏まえた企業のライフステージに応じた金融支援と本業支援		
①創業・新事業支援  創業・新事業支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生の実現に向け、外部専門機関等との連携による創業支援スキームの活用</li> <li>・創業・起業に関する補助金制度の活用提案の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月11日（土）より、今後創業を予定しているお客様、創業後間もないお客様、計22名を対象として全7回に渡る創業スクールを実施しました。</li> <li>・営業店担当者との情報共有によるスクール修了者への継続支援を実施するとともに、昨年までの創業者に対して、ミラサポ等を利用した専門家派遣をのべ13回（10先）実施するなど創業後のフォローを行っております。</li> </ul>
②経営改善支援  コンサルティング機能の発揮による取引先の経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新等認定支援機関（中小企業診断士、税理士等）や、中小企業再生支援協議会および信用保証協会等との積極的な連携を図る。</li> <li>・「ミラサポ事業」（中小企業・小規模事業者ビジネス創造支援事業）や群馬県「改善チャレンジ事業」を通じ専門家派遣など積極的な活用を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営サポート会議（信用保証協会）を活用し、認定支援機関及び経営コンサルタント、他の金融機関との連携により経営改善支援を行いました。</li> <li>・取引先企業4社の「知的資産経営レポート」の作成を支援し、4月19日に4社による発表会を開催しました。</li> </ul>
③事業再生・業務転換支援  多様な再生スキームの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抜本的な事業再生に向けた最適なソリューションの提案を行うほか、金融機関の取引地位や取引状況等に応じDDS等の抜本的な再生手法を検討し支援を行う。</li> <li>・必要に応じて、中小企業再生支援協議会や税理士等の外部専門機関と連携し再生に向けた具体的な提案を行うとともに、再生計画策定支援を積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の経営支援先に対して、再生支援協議会や顧問税理士、日本政策金融公庫などの外部機関と連携し、第2会社方式による抜本的な事業再生に向けたスキームの継続、計画策定支援および事業の持続可能性を見極める間の金融支援（リスケ）などを行っています。</li> </ul>

<p>④事業承継支援・M&amp;A 支援</p> <p>地方創生の実現に向けた円滑な事業承継及び事業引継ぎへの取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『事業引継ぎセンター』や自治体並びに各商工団体と連携した取組みを行う。</li> <li>・事業承継を課題とする取引先に対し、外部講師を招聘し事業承継に関するセミナー等を開催し、円滑な事業承継に向けての啓蒙活動を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継ネットワークを活用しての事業承継支援を4先、事業引継ぎ支援センターを活用してのM&amp;A支援を5先、信金キャピタルを活用してのM&amp;A支援を6先実施しました。</li> <li>・令和2年3月には、群馬銀行・高崎信用金庫・桐生信用金庫と地域内の事業承継支援のためのM&amp;A支援に向けた業務提携契約を締結しています。</li> </ul>
<p>⑤新事業展開・成長企業への支援</p> <p>地方創生の実現に向けた新事業展開・成長企業支援につながる多様なサービスの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当金庫主催によるフードビジネス個別商談会の開催や、連携する各信用金庫等が開催するビジネスフェア等の協賛や後援を通じて、取引先企業の販路開拓支援を実施。</li> <li>・国の補助金を中心とした補助金申請支援を実施し、取引先企業の事業計画の実現や地域経済の活性化に貢献する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年10月3日（木）にフードビジネス個別商談会を16信用金庫との共催、経済産業省をはじめ54機関の後援により開催し、86社のサプライヤーと49社のバイヤー企業により326件の商談に臨みました。</li> <li>・ものづくり補助金について、北関東産官学研究会等の支援により、28先を申請し、13先が採択されました。</li> <li>・令和元年度補正予算・ものづくり補助金公募申請書作成相談会を令和2年2月21日から2月27日までに2回開催し12社の申請書作成の相談を受け付けています。</li> <li>・令和元年7月、金融機関プラットフォーム「Shinonome Big Advance」の取扱いを開始し、WEBサイトによるビジネスマッチングで販路拡大・人材確保など経営課題にワンストップで応えるとともに、300社を超える大手企業とのオープンイノベーションなどを支援しています。</li> </ul>
<p>⑥事業性評価に関する人材育成</p> <p>事業性評価に関する研修の実施等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業性評価に関して、部店長と役員者を対象に「集合研修」と「通信講座」の実施に取組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支店長や役員者を対象に、実際の案件審査を通じた融資トレーニングを実施しました。（計5回 12名参加）</li> <li>・入庫2～3年、5年目未満、10年目未満など、階層別の自主勉強会を定期的で開催し、延べ285名の職員が参加しました。</li> </ul>

## 2. 地域の面的再生への積極的な参画・金融サービスの提供

項目	取組み施策	平成31年4月1日～令和2年3月の進捗																				
(1) 顧客組織を活用した多様な機会提供による取引先支援																						
顧客組織を活用した多様な機会提供による取引先支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「富岡、高崎、藤岡、前橋地域における経済、金融情報並びに会員相互間における共通諸問題について情報交換等を行うことにより、会員相互の事業発展並びに地域振興に資すること」を目的に経営者懇談会を組織化しており、会員相互間の交流や勉強会等を通じて、地元企業におけるビジネスチャンスの拡大に取組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者懇談会各支部の開催状況 定期総会【富岡支部 7/4、高崎支部 7/19、藤岡支部 7/10、前橋支部 7/12】</li> <li>・勉強会・懇親会の実施に向けた役員会等の開催状況 【富岡支部 11/20、高崎支部 未実施（個別対応）、藤岡支部 12/12、前橋支部 10/17】</li> <li>・しのめ信用金庫 経営者懇談会4部合同部会 2/6 前橋商工会議所にて開催しました。</li> </ul>																				
(2) 地域活性化へつながる多様なサービスの提供																						
①金融教育支援  子育て支援と金融教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全役職員に対する「しのめ信用金庫次世代育成支援行動計画書」の周知及び推進。</li> <li>・小中学校からの職場見学会及び職場体験学習等の受入。</li> <li>・地元在住の学生を対象としたインターン・シップの受入。</li> </ul>	<b>【令和元年度金融教育受入実績】</b> <table border="1" data-bbox="1375 823 2080 1054"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>実施内容</th> <th>学校数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>職場体験、お金の参観日</td> <td>8校</td> <td>189人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>職場体験、社会人交流</td> <td>5校</td> <td>約250人</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>社会人講義</td> <td>1校</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>大学生</td> <td>インターンシップ</td> <td>49校</td> <td>87人</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	実施内容	学校数	参加者数	小学生	職場体験、お金の参観日	8校	189人	中学生	職場体験、社会人交流	5校	約250人	高校生	社会人講義	1校	60人	大学生	インターンシップ	49校	87人
対象者	実施内容	学校数	参加者数																			
小学生	職場体験、お金の参観日	8校	189人																			
中学生	職場体験、社会人交流	5校	約250人																			
高校生	社会人講義	1校	60人																			
大学生	インターンシップ	49校	87人																			
②金融サービスの提供  地域を担う若い世代や高齢者への金融知識等の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な年金相談会の開催。</li> <li>・お客さまのライフサイクルに応じた金融情報等の提供。</li> <li>・消費者ローンのインターネット受付チャネルの充実により顧客利便性を高める。</li> <li>・保険商品や投信の販売体制を整備し、金庫全体のスキルアップに取組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に年金相談会を開催し、老後のライフプランを踏まえた生活設計の相談に対応しています（参加者合計 803名）。</li> <li>・職域セールスを中心とした若年層へのアプローチ企画として、フレッシュャーズキャンペーンを実施しました。</li> </ul>																				

(3) 各市町村からの要請に基づく地方創生に係る総合戦略への積極的な参画		
地方創生総合戦略の地方公共団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体が策定した地方版総合戦略に、直接的あるいは間接的に参画する。</li> <li>・地域経済活性化に資する施策等を提案し、当事者として参画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの編集社が地域資源や社会的活動を発信していくためのツールとしてリリースしたウェブメディア「つぐひ」において紹介記事を順次追加しています。</li> <li>・令和元年9月、各市町村・商工会議所等19の自治体に対し、課題解決及び新たな価値を提供するための3項目（副業人材サービス、クラウドファンディングサービス、デジタルマーケティングサービス）の説明会を開催しました。</li> <li>・令和元年12月、一般社団法人前橋まちなかエージェンシーと、前橋市の地方創生・発展・地域経済活性化を目的として地域経済活性化に向けた包括連携に関する協定書を締結しました。</li> </ul>

### 3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信・金融サービスの提供

項目	取組み施策	平成31年4月1日～令和2年3月の進捗
(1) ホームページやディスクロージャー誌及び各種メディア等の媒体を活用した積極的な情報開示・情報発信		
ホームページやディスクロージャー誌及び各種メディア等の媒体を活用した積極的な情報開示・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを活用し、当金庫の最新情報及び各種金融情報等を迅速でわかりやすく情報開示を行う。</li> <li>・ディスクロージャー誌を通じて、当金庫の経営内容等の積極的な開示。</li> <li>・各種メディアを活用した当金庫の最新情報や金融サービス情報等の発信。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年5月、地域密着型金融における平成30年度取組み状況及び令和元年度取組方針を公表しました。</li> <li>・ディスクロージャー誌は今年度より、信用金庫法に基づいた項目に限った開示とし、顧客への配布は行わず、ホームページ及び店頭での閲覧冊子としています。</li> <li>・ディスクロージャー誌の配布取り止めに伴い、ミニディスクロージャー誌においては充実を図りました。</li> <li>・令和元年8月、しのめしんきん公式LINEアカウントの運用を開始しました。</li> </ul>

4. 将来の成長可能性を重視した融資等に向けた取組み

項目	取組み施策	平成31年4月1日～令和2年3月の進捗
(1) 企業の成長可能性を重視した融資商品等の開発・管理		
企業の成長可能性を重視した融資商品等の開発・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当金庫の融資商品を活用した積極的な資金供給。</li> <li>・ 地域活性化に資する融資商品、新規事業への取組み（起業者）への融資商品の開発。</li> <li>・ キャッシュフロー重視の融資審査を通じて、事業実態及び事業特性を踏まえた資金供給。</li> <li>・ 地域経済の成長基盤強化に対して金融支援を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 群馬県信用保証協会との提携により、「しのめパートナー保証」（H27年4月取扱開始）「令和パートナー保証」（R1年6月取扱開始：期限付き商品）の取扱いを継続し、スコアリング審査システムにより一定の要件を満たす中小企業者（法人）の資金需要に対し、簡易迅速な審査を行い中小企業に対して円滑な資金繰り支援に取り組んでいます。</li> <li>・ 群馬県信用保証協会の独自保証制度「Gレポート保証」（H30年9月取扱開始）「Gレポートプラス保証」（R1年6月取扱開始）により、中小企業の資金繰り円滑化を目的とした短期継続融資の導入について、顧客の実態に則した提案を進めています。</li> <li>・ 事業性評価に基づく融資への取組みに着手し、今年度はR2年3月末時点にて累計49件991百万円の資金供給を行いました。</li> </ul>
(2) 職員における企業の成長可能性等の評価能力の向上		
職員における企業の成長可能性等の評価能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審査及び評価能力向上のための継続的な研修会・勉強会やトレーニー等の実施。</li> <li>・ 金融円滑化法終了後も同法の主旨を踏まえ、適切な金融仲介機能を発揮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業統括部による各エリア担当者（渉外担当者）への臨により、営業活動における課題の把握や各店の参考事例の説明等を行いました。</li> <li>・ 法人営業部職員による各エリア担当者との事業先同行訪問を通じて、事業先へのアプローチ手法や本業支援のソリューション提供の方法等の習得に取り組みました。</li> </ul>

## Ⅱ. 創業・新事業支援に係る制度融資の件数と残高

(単位：百万円)

商品名	令和元年度取扱実績		令和2年3月末現在融資残高	
	件数	金額	件数	金額
創業関連保証	1	8	9	39
前橋市起業家独立開業支援資金	10	58	117	495
高崎市新分野進出資金	0	0	1	6
高崎市創業支援資金	12	52	72	274
群馬県創業者支援資金	4	16	23	35
群馬県創業者支援資金再チャレンジ資金	8	26	57	164
埼玉県起業家育成資金（新事業創出）	2	5	3	2
埼玉県起業家育成資金（独立開業）	0	0	1	2
合 計	37	167	283	1,020

※ 金額の合計は、各資金を千円単位で集計しています。